

記 入 日 2016 年 1 月 13 日

1. 概 要

実践団体名	兵庫県立太子高等学校		
連絡先	079-277-0123		
プランタイトル	「町ぐるみ防災プラン」		
プランの対象者※1	18 全ての人々	対象とする 災害種別※2	1 (地震)

※1 別紙「記入上の留意点」の1. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※2 別紙「記入上の留意点」の2. 項目から1つ選択し、記入してください。

【プランの目的・ここがポイント！】

- ・三カ国語（ハングル・英語・中国語）の防災ビデオ・防災マップを作成し、太子町在住や姫路城観光の外国人への災害避難の一助となるようにする。
- ・兵庫県立太子高等学校生が町内各地に出向き作成した防災マップで、町内各所における危険個所を太子町民に周知する。
- ・防災ビデオ撮影等を町内各所で行う様子を町民が見ることで、防災への興味・関心及び備えを具体的なものとして身近に意識させる。
- ・兵庫県立太子高等学校生のカリキュラムにあるハングル・中国語・英語の学習成果を活用することで、生徒の語学力向上と国際理解教育の推進を図る

【プランの概要】

- ・太子町在住や姫路城観光の外国人の方々に、ハングル、中国語を用いた地震の発生時にどのような対処をすればいいのかわかるように防災ビデオ・防災マップを作成する。
特に防災マップは、表面は太子町の地図を描き、危険個所などを表示、姫路市内のWi-Fiスポットなども表示した。また地図の裏面にも火災時や地震時の避難法や身の守り方を説明した絵を描き、三カ国語での説明を加えた。

【期待される効果・ここがおすすめ！】

- ・太子町民の防災意識の向上と、生徒の地域防災リーダーとしての知識や判断力の向上。
- ・このプロジェクトが生徒たちにハングル・中国語・英語の運用能力の向上を促し、外国人とのコミュニケーションが活発化し、異文化理解の一助となる。
- ・太子町在住の外国人の方々や姫路に観光で来られている外国の方々の防災意識の向上を図ることができる。
- ・太子町と連絡を密にし防災ビデオ、防災マップを作成することで、学校と地域との連携をさらに深めることができる。

2. プランの年間活動記録 (2016 年)

	プランの 立案と調整	準備活動	実践活動
4 月	・外国人インタビューのまとめと反省など		・姫路城周辺での外国人インタビューのまとめと整理。外国人の知りたい防災情報の整理。
5 月	・先進校の兵庫県立御影高 高訪問立案	・管理職より御影高校へ依頼。 両校担当教諭の打ち合わせ	・御影高校訪問、実践されている「ナラビエ」について説明を受け、それをヒントに緊急時の避難方法を作画する。
6 月	・太子町役場との打ち合わせ	・太子町役場企画政策課への 訪問日決定	・太子町企画政策課へ防災教育チャレンジプラン内定の説明を行い、ビデオ撮影時の場所提供などの依頼を行う。 ・防災マップ作成決定
7 月	・8月の外国人インタビューのための計画作成	・災害発生時の避難のイラストを描く ・防災マップ作成準備	・兵庫県中学生・高校生防災ジュニアリーダー育成合宿に3名参加。ビデオに入れる避難所設置などを学ぶ。
8 月	・防災ビデオの状況設定	・中間報告会準備	・東日本大震災被災地支援に2名参加 ・外国人インタビューを実施 ・西播磨地域ビジョン委員会の方々との会議
9 月	・中間報告会準備	・中間報告会用資料準備	・中間報告会パワーポイント作成
10 月	・兵庫県中学生・高校生防災ジュニアリーダー報告会準備	・兵庫県中学生・高校生防災ジュニアリーダー報告会準備	・防災教育チャレンジプラン中間報告会発表 ・防災マップ作成
11 月	・防災ビデオシナリオ作成	・防災マップの言語の翻訳	・防災マップ作成、防災ビデオ撮影 ・兵庫県中学生・高校生防災ジュニアリーダー報告会での発表
12 月	・太子町庁舎での防災ビデオ撮影依頼	・太子町にマップ内容の確認	・庁舎での撮影 ・防災マップ完成 ・県下一斉募金を英語・ハングルで行う ・外国語講師による言語指導
1 月	・太子町での防災ビデオ上映場所などの調整	・最終報告会資料準備	・防災ビデオ撮影 ・全国ジュニアリーダー合宿参加
2 月	・本校総合学科発表会での発表内容調整	・防災教育チャレンジプラン最終報告会準備	・本校総合学科発表会で三カ国語ビデオ上映 ・防災教育チャレンジプラン最終報告会参加 ・太子町役場へ防災ビデオと防災マップを持参し担当者に御礼と報告
3 月	・総括及び反省会の設定		・防災教育チャレンジプランの成果の検証・反省 ・防災ビデオ・防災マップの配付

3. 実践したプランの内容と成果

【実践プログラム番号： ①】※3

タイトル	外国人への防災ニーズを確認するアンケート
実施月日（曜日）	平成28年3月31日（木）
実施場所	姫路城周辺
担当者または講師	担当者・講師等の区分：担当者 氏 名：藤井生也 所属・役職等：兵庫県立太子高等学校教諭
所要時間または「コマ数×単位時間」	5時間
プログラムのカテゴリ、形式※4	9校外学習 13体験学習
活動目的※5	2 防災に役立つ資料・材料づくり
達成目標	外国人の防災ニーズを知る
実践方法・進め方 （箇条書き またはフロー）	<p>1 外国人インタビューの進め方 (1) 姫路警察署に道路使用許可の申請 (2) 外国人にどのような防災ニーズがあるのかを話し合い、それをALTの力も借りて、翻訳する。 (3) 姫路城周辺へ出かけ、観光客と思しき外国人に声をかけ、生徒がインタビューを行う。</p> <p>質問1 今までに災害を体験したことがありますか？ 質問2 防災について何が知りたいですか？ 質問3 家庭で何か防災対策をしていますか？</p>  <p>質問1に関して・・・(外国人100名にインタビュー実施) <input checked="" type="checkbox"/>27%が災害を体験 アメリカ（テキサス・フロリダ）カナダからの外国人観光客は <input checked="" type="checkbox"/>15%がハリケーン・洪水・台風・竜巻・地震を経験 中国からの外国人観光客 <input type="checkbox"/>6%が地震を経験 オーストラリアからの観光客 <input type="checkbox"/>5%が洪水・火事を経験 ニュージーランドからの観光客 <input type="checkbox"/>1%が地震を経験</p>

	<p>質問2に関して・・・(外国人100人にインタビュー実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事が起こればどうすればいいのか?⇒37% ・地震が起こればどうしたらいいのか?⇒25% ・災害が起こればどこへ避難したらいいのか?⇒10% ・災害時どこへ避難するのか誰が指示してくれるのか?⇒7% ・災害時電話回線がダメになったらどのようにして人々とコミュニケーションをとればいいのか?⇒14% ・災害時に助けに来てくれた人たちとコミュニケーションをとるときに覚えていた方がいい日本語はあるのか?⇒6% ・災害時の備蓄はどのような物を用意しておけばいいのか?⇒1% <p>質問3に関して・・・(外国人100人にインタビュー実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になにもしていない⇒87% ・消火器がある⇒12% ・消火器とスプリンクラーがある⇒1% <p>上記活動を終えて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語を話そうという生徒の姿勢が積極的になった。 ・日本人観光客の方々も本校の取り組みに着目され、「頑張っ」などの声掛けをいただいた。 ・外国人の中には質問に対し回答するだけでなく、彼らの疑問をストレートにぶつけてくる方もいた。その時は教員の助けが必要となった。 ・外国人の防災に関するニーズがたくさんわかった。
<p>準備、使用したもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材 ・道具、材料等 	<ul style="list-style-type: none"> ・手書きの質問用紙 ・画用紙に書いた英語の質問 ・道路使用許可書 ・使用言語 英語
<p>参加人数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県立太子高等学校教諭1名 生徒3名
<p>経費の総額・内訳概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・0円
<p>成果と課題</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災ビデオ・防災マップ制作ポイントの手がかりとなった。 ・日本人観光客からもインタビューの様子を見て興味を持たれ、本校のプロジェクトのPRができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の語学力をさらにブラッシュアップさせること
<p>成果物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ、マップ作成の手がかりや本校プロジェクトのPR。 ・アンケート集計結果

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： ② 】※3

タイトル	防災教育先進校（兵庫県立御影高校）訪問
実施月日（曜日）	平成28年5月6日（金）
実施場所	兵庫県立御影高等学校
担当者または講師	担当者・講師等の区分：兵庫県立御影高等学校教員・生徒 氏 名：河合祐介 所属・役職等：兵庫県立御影高等学校主幹教諭
所要時間または「コマ数×単位時間」	3時間30分
プログラムのカテゴリ、形式※4	9校外学習 12研究
活動目的※5	2 防災に役立つ資料・材料づくり
達成目標	防災ビデオの参考とする
実践方法・進め方 （箇条書き またはフロー）	<ul style="list-style-type: none"> 本校生徒が、兵庫県立御影高等学校を訪問。主幹教諭の河合先生を中心に、実際に制作に携わった4名の3年生から「ナラビエ」の説明を受ける。 御影高校の生徒から説明を受けた後、本校生徒から「ナラビエ」に関する質問をする。（「ナラビエ」を外国人に見せるだけで、外国人は消火器の使い方や避難の方法が理解できたのか」等）  
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	<ul style="list-style-type: none"> 講師 兵庫県立御影高等学校主幹教諭 河合 祐介先生 兵庫県立御影高等学校生徒 小林 叶さん 岩田 萌花さん 河原明日菜さん 村田 薫音さん 「ナラビエ」 兵庫県立太子高等学校 教諭1名・生徒3名
参加人数	・兵庫県立御影高等学校主幹教諭1名 兵庫県立太子高等学校教諭1名 兵庫県立御影高等学校 生徒4名 兵庫県立太子高等学校生徒3名
経費の総額・内訳概要	・JR網干駅～JR住吉駅運賃 1320円×2×4名＝10,560円
成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> この先進校訪問後、本校美術部の生徒に「ナラビエ」をヒントに火災発生時や地震発生時の4コマの絵を描いてもらい、その絵を三カ国語ビデオに使用すればどうかというアイディアに繋がった。 先進校の取り組みを目にすることにより、生徒たちの活動意欲が増した。



	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸市は在日外国人の数が、太子町や姫路市に比べ格段に多く数多くの外国人を中心とした催事が毎月のように行われている。兵庫県立御影高校はそのような機会を利用し、「ナラビエ」を用い外国人と楽しみながらの交流ができています。今後、姫路市の大手前公園で行われているひめじ国際交流フェスティバルなどに参加し、防災マップや防災ビデオのPRを行うことを検討する。
<p>成果物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の三カ国語ビデオ制作へのモチベーションアップ

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： ③】 ※3

タイトル	太子町庁舎企画政策課との連携
実施月日（曜日）	6月29日（水）
実施場所	太子町庁舎
担当者または講師	担当者・講師等の区分：太子町担当者 氏 名：総務部企画政策課 課長 栄藤 雅雄 氏 地域安全係 係長 岩崎 祐二 氏 地域安全係 主任主査 高見 良 氏
所要時間または「コマ数×単位時間」	1 時間
プログラムのカテゴリ、形式※4	9 校外学習
活動目的※5	10 2016 年度内閣府防災教育チャレンジプラン三カ国語防災ビデオのPR
達成目標	本校の取り組みを太子町の方々に理解と協力の依頼をする。
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・太子町役場に 2016 年度防災教育チャレンジプラン採択の報告および三カ国語防災ビデオ作成の説明 </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・太子町役場で企画政策課の方々と会議 ・三カ国語防災ビデオの説明 ・役場から防災マップ制作の提案 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・太子町のHPは英・中・韓での閲覧が可能になっているのでマップ作成のときの参考になるだろうとアドバイスを受けた </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・本校のプラン支援依頼 </div> </div> <div style="margin-top: 10px; text-align: center;">  <p>太子町企画政策課への協力依頼の様子</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 40%; margin-top: 10px;"> <p>説明・質問内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育チャレンジプラン採択について説明 ・太子町と提携し、制作していくために必要な事柄の依頼 ・太子町在住外国人数・太子町危険箇所などを質問 </div> </div>

準備、使用したもの ・ 人材 ・ 道具、材料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 兵庫県立太子高等学校徒会役員 3 名 ・ 兵庫県立太子高等学校教諭 1 名 ・ 太子町への説明や質問を記入した用紙
参加人数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 兵庫県立太子高等学校教諭 1 名 ・ 生徒 3 名
経費の総額・内訳概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0 円
成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大人に対してプレゼンテーションを行ったり、説明や交渉を行うことについて生徒が、自信をつけることのできる場となった。 ・ 三カ国語の防災ビデオの制作についての説明の場であったが、太子町の方々から「防災マップも制作してはどうか。」という提案をいただくことができた。生徒もその提案に対して「ぜひやってみよう」と意欲を出した。こうしたやりとりから、太子町との協同事業に発展するという手ごたえを感じることができ、今後のビデオ制作への大きな発奮材料とすることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 太子町の協力や支援を受けるために、太子町との連絡・報告・相談をより密にしていく必要がある。
成果物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三カ国語の防災マップ作成が決定した。 ・ 防災ビデオ制作時の録画場所として太子町庁舎・防災室などを使用する許可を頂いた。

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： ④】 ※3

タイトル	平成 28 年度中学生・高校生防災ジュニアリーダー育成合宿参加																						
実施月日（曜日）	平成 28 年 7 月 21 日（木）～7 月 23 日（土）																						
実施場所	国立淡路青少年交流の家																						
担当者または講師	兵庫県教育委員会教育企画課・兵庫県立舞子高等学校																						
所要時間または「コマ数×単位時間」	1 日目「講義Ⅰ・Ⅱ」・WS 1「太陽炉作成」4 h 2 日目「講義Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、太陽炉作成」6 h 40 m 3 日目「アクションプラン発表・野島断層見学」3 h 30 m 2泊3日																						
プログラムのカテゴリ、形式※4	2 講習会・学習会・ワークショップ																						
活動目的※5	6 防災に関する知識を深める																						
達成目標	防災ジュニアリーダーとしての知識や意識の向上および本校の取り組む防災ビデオ、防災マップの内容を向上させる防災知識の修得																						
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 1 日目 13:00 開校式 13:30～16:00 講義Ⅰ 16:10～16:40 講義Ⅱ 17:00 夕べの集い 17:30 夕食 18:30 入浴 20:00～21:00 WS1 22:00 就寝 </td> <td style="vertical-align: top;"> 2 日目 6:30 起床・寝具整理・洗面 朝のつどい 7:25 朝食 7:50 清掃 9:00～10:20 講義Ⅲ 10:40～12:00 講義Ⅳ 12:15 昼食 13:20～14:00 発表「熊本地震報告」 14:20～15:40 講義Ⅴ WS2 15:50～16:40 WS3 17:00 夕べのつどい 20:00～21:00 WS4 22:00 就寝 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 3 日目 6:30 起床・寝具整理・洗面 6:55 朝の集い 7:20 朝食 7:50 清掃・片づけ・寝具整理 9:00～11:00 WS5「アクションプラン発表」 </td> </tr> </table>		1 日目 13:00 開校式 13:30～16:00 講義Ⅰ 16:10～16:40 講義Ⅱ 17:00 夕べの集い 17:30 夕食 18:30 入浴 20:00～21:00 WS1 22:00 就寝	2 日目 6:30 起床・寝具整理・洗面 朝のつどい 7:25 朝食 7:50 清掃 9:00～10:20 講義Ⅲ 10:40～12:00 講義Ⅳ 12:15 昼食 13:20～14:00 発表「熊本地震報告」 14:20～15:40 講義Ⅴ WS2 15:50～16:40 WS3 17:00 夕べのつどい 20:00～21:00 WS4 22:00 就寝	3 日目 6:30 起床・寝具整理・洗面 6:55 朝の集い 7:20 朝食 7:50 清掃・片づけ・寝具整理 9:00～11:00 WS5「アクションプラン発表」																		
	1 日目 13:00 開校式 13:30～16:00 講義Ⅰ 16:10～16:40 講義Ⅱ 17:00 夕べの集い 17:30 夕食 18:30 入浴 20:00～21:00 WS1 22:00 就寝	2 日目 6:30 起床・寝具整理・洗面 朝のつどい 7:25 朝食 7:50 清掃 9:00～10:20 講義Ⅲ 10:40～12:00 講義Ⅳ 12:15 昼食 13:20～14:00 発表「熊本地震報告」 14:20～15:40 講義Ⅴ WS2 15:50～16:40 WS3 17:00 夕べのつどい 20:00～21:00 WS4 22:00 就寝																					
3 日目 6:30 起床・寝具整理・洗面 6:55 朝の集い 7:20 朝食 7:50 清掃・片づけ・寝具整理 9:00～11:00 WS5「アクションプラン発表」																							
	<table border="1"> <tr> <td style="width: 33%;">講義Ⅰ「中学生・高校生、災害と向き合う」</td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>講義Ⅱ「熊本地震報告」 WS 1「太陽炉作成」</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>講義Ⅲ「ボランティアについて考える」</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>講義Ⅳ「阪神・淡路大震災を語り継ぐ」</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>講義ⅤWS 2「東日本訪問報告と支援について」</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>WS 3「アクションプラン作成①」 WS 4「アクションプラン作成④」</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>WS 5「アクションプラン発表」</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		講義Ⅰ「中学生・高校生、災害と向き合う」			講義Ⅱ「熊本地震報告」 WS 1「太陽炉作成」			講義Ⅲ「ボランティアについて考える」			講義Ⅳ「阪神・淡路大震災を語り継ぐ」			講義ⅤWS 2「東日本訪問報告と支援について」			WS 3「アクションプラン作成①」 WS 4「アクションプラン作成④」			WS 5「アクションプラン発表」		
講義Ⅰ「中学生・高校生、災害と向き合う」																							
講義Ⅱ「熊本地震報告」 WS 1「太陽炉作成」																							
講義Ⅲ「ボランティアについて考える」																							
講義Ⅳ「阪神・淡路大震災を語り継ぐ」																							
講義ⅤWS 2「東日本訪問報告と支援について」																							
WS 3「アクションプラン作成①」 WS 4「アクションプラン作成④」																							
WS 5「アクションプラン発表」																							

<p>準備、使用したもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人材 ・ 道具、材料等 	 <p>教育委員会挨拶</p>	 <p>熊本地震報告①</p>
	 <p>「中学生・高校生、災害と向き合う」</p>	 <p>「太陽炉をつくろう」</p>
	 <p>アクションプラン発表</p>	 <p>野島断層見学</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師 松陽高校教諭 諏訪清二先生 神港橘高校 堀江 俊志先生 舞子高校教諭 和田 茂先生 小竹 貫介先生 山田 ゆい先生 西宮北高校主幹教諭 三浦 巡先生 ・ アルミガス台シート A3厚紙 30cm定規 ハサミ 糊 ダブルクリップ3個 (太陽炉作成のための用具) しおり 1日目 弁当 水筒 タオル 洗面用品 筆記用具 講義用ノート 	
	<p>参加人数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 兵庫県立太子高等学校生徒 3名 兵庫県立太子高等学校教諭 1名 ・ 他校生徒 50名 他校教諭 21名
<p>経費の総額・内訳概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0円 	
<p>成果と課題</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の防災意識の向上。 ・ 他校生徒に刺激され本校生徒の防災に関する視野の広がり。 ・ 防災に関する生徒の知識が向上した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校生よりも防災の意識が高い生徒が多く参加していた。本校生の、さらに高い防災意識を育成する必要がある。 	
<p>成果物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他校生徒たちとのネットワーク ・ 生徒の防災への知識向上 ・ 防災に役立つ資料・材料づくりの知識 ・ 防災意識の向上 	

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： ⑤】 ※3

タイトル	平成28年度中学生・高校生防災ジュニアリーダーによる東日本大震災の被災地支援				
実施月日（曜日）	平成28年8月2日（火）～8月4日（木）				
実施場所	宮城県 東松島市 多賀城市				
担当者または講師	兵庫県教育委員会教育企画課・兵庫県立舞子高等学校				
所要時間または「コマ数×単位時間」	1日目 研修Ⅰ「震災を語り継ぐ」1h 2日目 研修Ⅱ「あおい地区視察」1h 研修Ⅲ「大川小学校視察」40m 研修Ⅳ「宮城県多賀城高校での交流」2h30m 研修Ⅴ「大曲仮設地区での交流」2h10m 3日目 バス内研修 適宜 (2泊3日)				
プログラムのカテゴリ、形式※4	2 講習会・学習会・ワークショップ 13 体験学習				
活動目的※5	10 被災地慰問と被災地の方々との交流				
達成目標	防災ジュニアリーダーの育成および本校の取り組む防災ビデオ、防災マップの内容を向上させる防災知識の向上				
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	<table border="0"> <tr> <td>1日目 7:40 神戸湊川神社前集合 8:00 バス出発 昼頃 昼食（サビレスリア） 夕方 夕食（サビレスリア） 20:00 東松島市大曲仮設住宅着 20:15 研修Ⅰ「震災を語り継ぐ」 東北大特任教授 齋藤 幸男 様 22:00 就寝</td> <td>2日目 6:30 起床（身支度・掃除） 7:00 朝食 8:50 研修Ⅱ「あおい地区」視察 10:50 研修Ⅲ「大川小学校視察」 11:50 昼食 13:30 研修Ⅳ「多賀城高校での交流」 16:50 研修Ⅴ「大曲仮設での交流」</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3日目 6:00 起床 6:30 バスにて出発 7:30 朝食 サビレスリア バス内にて研修 昼頃 昼食 サビレスリア 夕方 夕食 サビレスリア 18:30 JR神戸駅北側 湊川神社前バス着・解散</td> </tr> </table>   <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> あおい地区仮設住宅 大川小学校 </p>	1日目 7:40 神戸湊川神社前集合 8:00 バス出発 昼頃 昼食（サビレスリア） 夕方 夕食（サビレスリア） 20:00 東松島市大曲仮設住宅着 20:15 研修Ⅰ「震災を語り継ぐ」 東北大特任教授 齋藤 幸男 様 22:00 就寝	2日目 6:30 起床（身支度・掃除） 7:00 朝食 8:50 研修Ⅱ「あおい地区」視察 10:50 研修Ⅲ「大川小学校視察」 11:50 昼食 13:30 研修Ⅳ「多賀城高校での交流」 16:50 研修Ⅴ「大曲仮設での交流」	3日目 6:00 起床 6:30 バスにて出発 7:30 朝食 サビレスリア バス内にて研修 昼頃 昼食 サビレスリア 夕方 夕食 サビレスリア 18:30 JR神戸駅北側 湊川神社前バス着・解散	
1日目 7:40 神戸湊川神社前集合 8:00 バス出発 昼頃 昼食（サビレスリア） 夕方 夕食（サビレスリア） 20:00 東松島市大曲仮設住宅着 20:15 研修Ⅰ「震災を語り継ぐ」 東北大特任教授 齋藤 幸男 様 22:00 就寝	2日目 6:30 起床（身支度・掃除） 7:00 朝食 8:50 研修Ⅱ「あおい地区」視察 10:50 研修Ⅲ「大川小学校視察」 11:50 昼食 13:30 研修Ⅳ「多賀城高校での交流」 16:50 研修Ⅴ「大曲仮設での交流」				
3日目 6:00 起床 6:30 バスにて出発 7:30 朝食 サビレスリア バス内にて研修 昼頃 昼食 サビレスリア 夕方 夕食 サビレスリア 18:30 JR神戸駅北側 湊川神社前バス着・解散					
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	<ul style="list-style-type: none"> ・講師 東北大学特任教授 齋藤 幸男 氏 大曲地区仮設住宅自治会長 佐藤 敏郎 氏 兵庫県立舞子高校 太古 千恵美校長先生 小竹 貫介先生・村岸 幸太郎先生 山田 ゆい先生 兵庫県立西宮北高校主幹教諭 三浦 巡先生 				



参加人数	・兵庫県立太子高等学校生徒 2 名 ・他校生徒 3 4 名
経費の総額・内訳概要	・ 0 円
成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 阪神・淡路大震災を知らない生徒たちが実際に大震災の起こった東日本を訪れ、震災の恐ろしさを体感することができた。 ・ 前回の淡路のリーダー研修で培ったネットワークを利用し、出発前から昨年度の情報を入手し、事前に行われるプログラムなどについてある程度把握した状態で東日本へ出発することができた。そのため、被災地の方々への質問事項や、交流の内容や、レクリエーション内容などについて、出発前から準備ができており、現地でスムーズで内容の濃い交流ができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣された日や派遣から帰ってからは被災地の状況を目の当たりにしたことで被災地の方々を思い生活ができた。本校の他のメンバーにも被災地の状況について説明をすることで被災地への思いを、一過的なものにせず、継続した被災地支援を行うこと。
成果物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災被災地での現地の方々からの話や交流を通じ「人を思いやる気持ち」の本質を感じ取ることができた。

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1 つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： ⑥】※3

タイトル	防災の絵の効果検証（外国人へのインタビューを通じて）
実施月日（曜日）	8月5日（金）
実施場所	姫路城周辺
担当者または講師	氏 名：藤井 生也 所属・役職等：兵庫県立太子高等学校教諭
所要時間または「コマ数×単位時間」	5時間
プログラムのカテゴリ、形式※4	9校外学習 13体験学習
活動目的※5	10 三カ国語防災ビデオのナレーションのヒントを得る
達成目標	ビデオのナレーション案を作成する
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>御影高校の「ナラビエ」をヒントに緊急時避難の絵を作成</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>緊急時の避難について絵の意味が外国人に理解できているかをインタビューにより検証</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p style="text-align: center;">インタビューに使用した絵 インタビュー・検証の様子</p>
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	<ul style="list-style-type: none"> ・4コマの緊急時避難方法を描いた絵 ・外国人へのインタビュー用の英語で書かれている質問紙 ・本校生徒3名 ・西播磨地域ビジョン委員会安全推進チーム員6名 ・本校教諭1名
参加人数	・10名（内訳は上記の通り）
経費の総額・内訳概要	・0円
成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際のビデオで使用する英語のナレーションについて、参考となる多くの英語の表現を学べた。 ・西播磨ビジョン委員会の発行するコミュニティ紙に、本校の活動が掲載されることとなった。 ・毎日新聞社の取材が入り、本校の取り組みが兵庫県全域に周知された。 ・インタビューを通じて、外国人の方々の防災の知識が希薄であることがわかった。



	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人の防災に役立つようなビデオの内容はどのようなものかの検討をする。 ・外国人から予期せぬ質問を受けた場合など、生徒だけで対応するのは難しかった。もう少し、生徒たちが英語のコミュニケーション力を身につける必要がある。
<p>成果物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ビデオで使用する英語のナレーションでの表現方法など。 ・本校の取り組みがまとめられた新聞記事

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： ⑦ 】※3

タイトル	西播磨地域ビジョン委員会安全推進チームの方々とのコラボレーション
実施月日（曜日）	平成28年8月12日（金）
実施場所	兵庫県立太子高等学校応接室
担当者または講師	田野本 満男氏 西播磨地域ビジョン委員会生活安全推進チームリーダー
所要時間または「コマ数×単位時間」	2時間
プログラムのカテゴリ、形式※4	8 その他学校内での時間 11 出前授業
活動目的※5	10 防災ビデオ・防災マップをさらに充実した内容のものとする。
達成目標	防災ビデオ・防災マップの充実・本校の取り組みの広報
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	<ul style="list-style-type: none"> ・本校から2016年度内閣府防災教育チャレンジプランに採用された経緯や取り組みについての説明。 ・生活安全推進チームリーダーの田野本氏による司会で、本校の取り組みに対する質疑応答。 ・本校生徒からの質問に対し、生活安全推進チームの方々が回答。  
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	<ul style="list-style-type: none"> ・西播磨ビジョン委員会生活安全推進チームメンバー5名 ・本校の防災ジュニアリーダーと生徒会役員5名・本校教諭1名 ・パソコン ・本校美術部生徒の描いた4コマの緊急時の避難法を示す絵
参加人数	・11名（内訳は上記の通り）
経費の総額・内訳概要	・0円
成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップに姫路城周辺のWi-Fiスポットの掲載決定。 ・西播磨地域ビジョン委員会の方々から本校の防災への取り組みを評価され、フェイスブックや広報紙に本校の取り組みが掲載されることになった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西播磨地域ビジョン委員会の方々と話し合った内容をどのように実践していくか。
成果物	・西播磨地域ビジョン委員会の支援

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。



西播磨きらきら通信 2016年 10月号

生活安全推進チーム

～安心して暮らせる地域づくりを目指す～

生活安全推進チームでは、「住みなれた地域で支え合って共に生きる」を目標に西播磨の各地域を訪問し、今年3月に「西播磨地域の防災・減災活動の紹介」冊子を発行しました。今期は

「高齢者が安心して暮らせる地域づくり」を実践している地域の団体やグループを取材し紹介する活動や「高校生の考える地域防災・減災活動」をテーマに活動を展開します。



高校生による街頭インタビュー



会議風景



高校生との集合写真

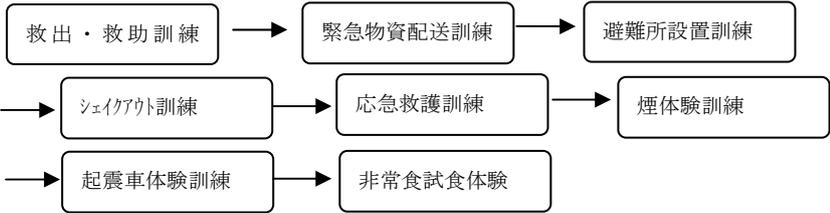
8月5日、チームは太子高校生が取り組んでいる「内閣府防災教育チャレンジプラン」活動の一環である防災情報収集に同行しました。「内閣府防災教育チャレンジプラン」とは昨今の自然災害経験から、「自助」、「共助」の重要性が再認識される中で、全国各地で防災教育を推進する事により様々な地域課題を解決するヒントを示すものです。今後も高校生が取り組むこの活動をサポートします。

チームリーダー 田野本 満男

☆「内閣府防災教育チャレンジプラン」県立太子高等学校紹介HP サイト

www.bosai-study.net/cp/plan2016.php?&no=14

【実践プログラム番号： ⑧】 ※3

タイトル	太子町合同防災訓練
実施月日（曜日）	10月25日（日）
実施場所	太子町立太田小学校グラウンド
担当者または講師	太子町職員、兵庫県警たつの警察署、太子町消防署・消防団、陸上自衛隊
所要時間または「コマ数×単位時間」	3時間
プログラムのカテゴリ、形式※4	16 避難・防災訓練
活動目的※5	3 災害に強い地域をつくる
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応力醸成・防災、減災に関する知識の向上 ・太子町民と本校生の協同作業の習熟
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	<div style="text-align: center;">  <pre> graph LR A[救出・救助訓練] --> B[緊急物資配送訓練] B --> C[避難所設置訓練] D[シェイクアウト訓練] --> E[応急救護訓練] E --> F[煙体験訓練] G[起震車体験訓練] --> H[非常食試食体験] </pre> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県立太子高等学校防災ジュニアリーダー 5名 生徒会役員 5名 写真部部員 10名 教諭 4名 ・カメラ、ビデオ、体操服
参加人数	<ul style="list-style-type: none"> ・約650名（太子町住民・警察・消防・太子町職員・自衛隊等） ・本校生徒（内訳は上記の通り） ・本校教諭 4名



経費の総額・内訳概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0円
成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災ジュニアリーダー合宿に参加した生徒2名が先頭に立ち、各訓練で積極的な動きを見せた。 ・ 防災ビデオや防災マップ制作に係るヒントや指導を訓練の中から実際に自衛隊の方々から指導を受けることができた。 ・ 阪神・淡路大震災を経験していない本校の生徒たちが、自衛隊の方や太子町消防署員・消防団員によって実演された救助訓練や、救急搬送などを実際に目にするにより、大きな災害救助を体感すると共に、災害時に必要な動きや、緊急連絡の方法等を学ぶことができた。 ・ 太子町の方々から、生徒たちが参加している訓練の中で、生徒たちに「一生懸命頑張っているね。」「若い子が来たら、この訓練にも張り合いがでるわ。」などたくさん声掛けをいただいた。生徒たちの若い力が住民にも伝わり、町民との協同作業を習熟させることができた。 ・ 大田小学校体育館ではグラウンドでの訓練の他に避難所設置訓練が行われていた。本校の取り組んでいる三カ国語の防災ビデオの中では避難所でのマナーなど取り上げるので、大きな参考になった。また起震車体験で机の下に潜るときも、机の脚の握り方など消防署の方に詳しく教えてもらえ、知識が増えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災ジュニアリーダーの生徒たちは各訓練において率先して、各訓練に取り組んでいた。次年度からの校内の防災訓練において、各訓練でリーダー的な立場で参加できるようになること。
成果物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災ジュニアリーダー合宿で生徒の学んだ知識の活用及び行動

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： ⑨】 ※3

タイトル	平成28年度兵庫県中学生・高校生防災ジュニアリーダー活動報告会
実施月日（曜日）	平成28年11月26日（土）
実施場所	神戸学院大学ポートアイランドキャンパスB号館3階
担当者または講師	兵庫県教育委員会教育企画課・兵庫県立舞子高等学校
所要時間または「コマ数×単位時間」	3時間30分
プログラムのカテゴリ、形式※4	2 講習会・学習会・ワークショップ
活動目的※5	10 これからの防災、減災の担い手である中学生・高校生を対象に行っている東日本大震災の被災地支援と防災教育の推進事業の一環として、兵庫県中学生・高校生防災ジュニアリーダーの活動を振り返ると共に、各校で取り組んでいる防災活動の成果を発表し、その成果を共有することによって、各校の今後の取組をより発展させていく。
達成目標	・防災ジュニアリーダーの意識向上とポスターセッションの成功
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	<p>12:00 集合・説明・準備（ポスター展示） 12:30 全体会 開会式 活動報告（発表） 13:20 ポスターセッション（各校の防災に関する1年間の取り組みを発表） 14:20 交流会 15:10 閉会式・講評 15:30 片づけ・解散</p>  <p>各校1年間の取り組みをまとめたポスター掲示</p> <pre> graph TD A[各校1年間の取り組みをまとめたポスター掲示] --> B[ポスターセッション] B --> C[交流会] D[本校「町ぐるみ防災プラン」進捗状況説明] --- B E[「長期的にできる防災・減災の取り組み」について] --- C </pre>



準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県土整備部県土企画局技術企画課 2名 ・本校の1年間の取り組みを説明するポスター2枚 ・本校防災ジュニアリーダー3名 ・本校教諭1名
参加人数	・生徒103名 ・教育委員会4名 ・校長6名 ・教諭46名 (内訳 本校は生徒3名、教諭1名参加)
経費の総額・内訳概要	0円
成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他校の取り組みに生徒が触発された。 ・防災かるたを制作している学校があり、英語・ハングル・中国語を用いた防災かるたの作成というヒントを得られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回学んだことを、参加した生徒たちが、次年度の本校の新たな防災に関する取り組みにどうつなげるか。
成果物	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターセッションのために作成した掲示物

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

実践プログラム番号： ⑩ ※3

タイトル	全県一斉合同募金参加
実施月日（曜日）	12月18日（日）
実施場所	姫路城大手前門付近
担当者または講師	兵庫県立太子高等学校・兵庫県立龍野北高等学校 教諭各1名
所要時間または「コマ数×単位時間」	2時間
プログラムのカテゴリ、形式※4	17 被災地支援の募金活動
活動目的※5	10 被災地支援の募金を集めること
達成目標	被災地への貢献
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">龍野北高校との事前打ち合わせ ①</div> <div style="font-size: 2em;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">道路使用許可書受領</div> <div style="font-size: 2em;">⇒</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">龍野北高校との事前打ち合わせ ②</div> <div style="font-size: 2em;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">募金御礼のしおり、配付用ミサンガの作成</div> <div style="font-size: 2em;">⇒</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">募金時の掲示用紙などの作成</div> <div style="font-size: 2em;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">募金活動実施</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 20px;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 20px;">   </div> </div>



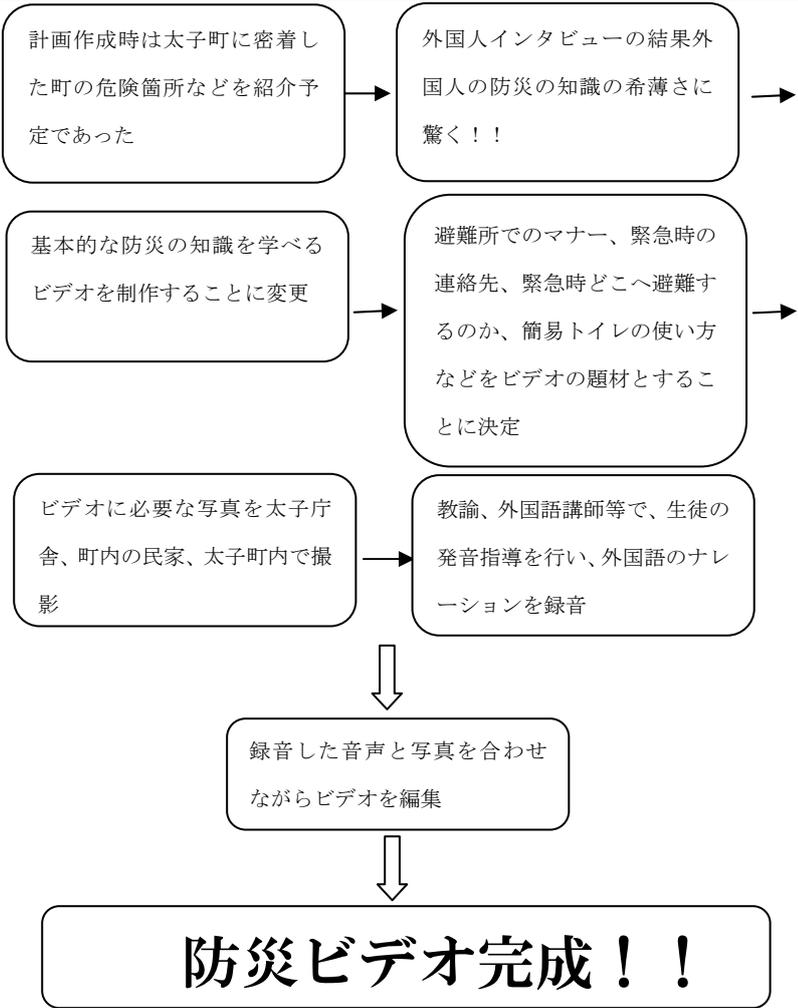
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	・募金箱 ・募金御礼のしおりとミサンガ ・画用紙 ・担当教員 2 名
参加人数	・兵庫県立太子高等学校生徒 5 名・教諭 1 名 兵庫県立龍野北高等学校生徒 3 名・教諭 1 名
経費の総額・内訳概要	・ 0 円
成果と課題	【成果】 ・本校の生徒が英語・ハングルで外国人観光客への募金の呼びかけに応じ、足を止め募金をしてくださる外国人の方々が大勢いた。 ・他言語で募金活動をし、自分たちの話す言語が通じたことで、生徒はビデオ制作時のナレーションにも大きく自信をつけた。 【課題】 ・今回は防災ジュニアリーダーが先頭に立ち、募金をしてくれた。その中の 2 名が他言語に秀でていたため、外国人観光客に関心を持っていただくことができた。彼らのあとに続く、他言語に秀でた防災ジュニアリーダーを育成していくかが課題である。
成果物	・本校防災ジュニアリーダによる、英語・ハングルで募金の呼びかけにより多くの募金を集めることができた。 ・募金総額 55,840 円

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1 つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の 3. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※5 別紙「記入上の留意点」の 4. 項目から 1 つ選択し、記入してください。

実践プログラム番号： ⑪ ※3

タイトル	防災ビデオの作成について
実施月日（曜日）	通年
実施場所	兵庫県立太子高等学校・格技場、兵庫県立太子高等学校学校評議員自宅、太子町庁舎
担当者または講師	兵庫県立太子高等学校生徒・教諭・外国語講師・学校評議員、太子町企画政策課、
所要時間または「コマ数×単位時間」	通年
プログラムのカテゴリ、形式※4	1 7 三カ国語防災ビデオ制作
活動目的※5	1 0 本校で行われているハングル・中国語・英語を使い生徒の語学力向上、国際理解教育の推進を図りながら、基本的な防災に関する知識を外国人等に伝え。
達成目標	基本的な防災知識に関する三カ国語の防災ビデオ完成
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	 <pre> graph TD A[計画作成時は太子町に密着した町の危険箇所などを紹介予定であった] --> B[外国人インタビューの結果外国人の防災の知識の希薄さに驚く!!] C[基本的な防災の知識を学べるビデオを制作することに変更] --> D[避難所でのマナー、緊急時の連絡先、緊急時どこへ避難するのか、簡易トイレの使い方などをビデオの題材とすることに決定] E[ビデオに必要な写真を太子庁舎、町内の民家、太子町内で撮影] --> F[教諭、外国語講師等で、生徒の発音指導を行い、外国語のナレーションを録音] B --> D D --> F F --> G[録音した音声と写真を合わせながらビデオを編集] G --> H[防災ビデオ完成!!] </pre>

準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	・兵庫県立太子高等学校生徒20名・学校評議員1名・美術部顧問1名・教諭3名・外国語講師2名・学校評議員1名 ・DVD, ビデオカメラ、太子庁舎、DVDシュリンク袋				
参加人数	・内訳は上記の通り				
経費の総額・内訳概要	<table border="0"> <tr> <td>・防災ビデオDVD代金(100枚)</td> <td style="text-align: right;">2,000円</td> </tr> <tr> <td>・防災ビデオDVDシュリンク袋(100枚)</td> <td style="text-align: right;">1,750円</td> </tr> </table>	・防災ビデオDVD代金(100枚)	2,000円	・防災ビデオDVDシュリンク袋(100枚)	1,750円
・防災ビデオDVD代金(100枚)	2,000円				
・防災ビデオDVDシュリンク袋(100枚)	1,750円				
成果と課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人インタビューにより外国人の防災の知識が限られていることがわかった。また、外国人の経験した災害についても学ぶことができ、ビデオ作成時の大きなヒントになった。 ・2回目の外国人インタビューは1回目の外国人インタビューに比べ、生徒も自信を持って、他言語を使用し外国人に話しかけることができた。 ・ビデオのナレーションを録音するときに、生徒の指導を外国語の講師の方々に行っていただいたが、生徒たちはやり直しにも気落ちすることなく、「いいものをつくりたい。」という熱意を持ち、前向きな姿勢で取り組み、忍耐力を養うことができた。 ・今回の取り組みが新聞や地域コミュニティ紙で報道され、本校の取り組みが広報された。 ・太子町役場企画政策課の方々 と連携し、内容についての指導を受けながら防災ビデオに取り組むことで、生徒たちの大人への対応の姿勢やコミュニケーション能力が向上した。 ・太子町役場企画政策課の方々や、兵庫県立太子高等学校学校評議員にビデオ制作に協力していただくことで、本校の取り組みの趣旨を理解していただき、次年度の協力体制が整った。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回制作したビデオをバージョンアップさせ、当初の制作予定であった太子町の危険箇所・避難経路などを知らせる三カ国語のビデオを制作すること。 				
成果物	三カ国語防災ビデオ				

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： ⑫】※3

タイトル	三カ国語防災マップ・防災ビデオ制作（総まとめ）
実施月日（曜日）	通年
実施場所	兵庫県立太子高等学校・太子町内・太子町庁舎・姫路市内・姫路城周辺等
担当者または講師	兵庫県教育委員会・太子町企画政策課・兵庫県立舞子高等学校・兵庫県立龍野北高等学校・兵庫県立御影高等学校・西播磨地域ビジョン委員会生活安全推進チーム・兵庫県警たつの警察署・太子町消防署・消防団陸上自衛隊・兵庫県立太子高校高等学校評議員・兵庫県立太子高等学校中国語・ハングル講師
所要時間または「コマ数×単位時間」	通年
プログラムのカテゴリ、形式※4	1 7 三カ国語防災マップ・防災ビデオ作成
活動目的※5	1 0 本校で行われているハングル・中国語・英語を使い生徒の語学力向上、国際理解教育の推進を図りながら防災ビデオや防災マップを作成し、町内外在住の外国人の方々への防災の啓発を行う。また、太子高等学校が緊急時の避難場所になっていることも太子町民や太子町在住の外国人に周知すること、本校のビデオ撮影等を町内で行う様子を住民が目にするこで、住民に防災への興味や関心を持たせる。以上の活動を通じ、生徒たちの太子町へのふるさと意識の育成を図る。
達成目標	三カ国語防災ビデオ・防災マップの完成
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	<p>防災マップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒たちが作成プランを本校教諭・太子町企画政策課へ提案 作成の方向性を決め、防災ジュニアリーダーから本校美術部顧問や美術部に趣旨説明、協力依頼。 美術部による太子町の地図や危険箇所、避難場所、避難場所の収容人数などの作図。 生徒たちが日本語・中国語・英語・ハングルを地図上に記入。 太子町企画政策課と地図の表記内容の確認等打ち合わせ。 完成したマップを太子町庁舎・姫路市役所などに配付。町内の小学校や中学校などにも掲示を依頼予定。 <p>防災ビデオ</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客へのインタビューを通じ、外国人の防災ニーズを知る。 外国人インタビューの結果から、防災ビデオで扱う内容を防災基礎知識的なものにと決定。 御影高等学校の「ナラビエ」を参考に美術部部に災害時の避難法を描いてもらい、8月にそれをうい再度外国人インタビューを実施する。 防災ビデオの内容を考え、ナレーションを四ヶ国語で考える。 撮影実施。完成したものを太子町庁舎で上映。太子町から訂正依頼があれば訂正箇所を修正し完成。

<p>準備、使用したもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材 ・道具、材料等 	<p>防災マップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画用紙、印刷業者、兵庫県立太子高等学校美術部顧問 1 名・美術部部員 5 名 太子町企画政策課 3 名、兵庫県立太子高等学校教諭 3 名、ハングル・中国語講師各 1 名 <p>防災ビデオ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVD、ビデオカメラ、地域住民 1 名・太子町庁舎 兵庫県立太子高等学校写真部顧問 1 名、教諭 3 名、ハングル・中国語講師各 1 名 																
<p>参加人数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県立太子高等学校生徒 20 名・教諭 5 名 																
<p>経費の総額・内訳概要</p>	<table border="0"> <tr> <td>・取材交通費</td> <td>10,560円</td> </tr> <tr> <td>講師謝礼</td> <td>5,000円</td> </tr> <tr> <td>防災マップ日本語版成果物印刷代金(50部)</td> <td>36,000円</td> </tr> <tr> <td>防災マップ原稿スキャニング代金</td> <td>8,000円</td> </tr> <tr> <td>防災ビデオDVD代金(100枚)</td> <td>2,000円</td> </tr> <tr> <td>防災ビデオDVDシュリンク袋(100枚)</td> <td>1,750円</td> </tr> <tr> <td>ハングル・中国・英語防災マップ印刷代金</td> <td>36,690円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計</td> <td>100,000円</td> </tr> </table>	・取材交通費	10,560円	講師謝礼	5,000円	防災マップ日本語版成果物印刷代金(50部)	36,000円	防災マップ原稿スキャニング代金	8,000円	防災ビデオDVD代金(100枚)	2,000円	防災ビデオDVDシュリンク袋(100枚)	1,750円	ハングル・中国・英語防災マップ印刷代金	36,690円	合計	100,000円
・取材交通費	10,560円																
講師謝礼	5,000円																
防災マップ日本語版成果物印刷代金(50部)	36,000円																
防災マップ原稿スキャニング代金	8,000円																
防災ビデオDVD代金(100枚)	2,000円																
防災ビデオDVDシュリンク袋(100枚)	1,750円																
ハングル・中国・英語防災マップ印刷代金	36,690円																
合計	100,000円																
<p>成果と課題</p>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体の防災意識の向上。 ・地域と太子高校の更なる信頼関係の構築。 ・次年度以降への防災に関する活動への自信。 ・防災ジュニアリーダーを中心とする生徒のコミュニケーション能力、折衝能力等の向上。 ・防災マップを作成したことで太子町や学校近隣の危険箇所、避難場所、避難場所の収容人数などを学び、ふるさとを大切に思う心が醸成できた。 ・太子高校の生徒をはじめ、太子町内の方々の防災意識が向上した。 ・町内の方と協働することによって生徒たちのふるさと意識が深まった。 ・太子町との連携の強化。 ・中国語・ハングル・英語等の語学力の向上と国際理解教育の推進。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の防災意識をさらに向上させ、全校で防災に取り組もうとする気運の醸成。 ・今年度の成果物を用いた次年度以降の防災への取り組みプランの作成。 ・防災ビデオの改良。 																
<p>成果物</p>	<p>三カ国語防災ビデオ・三カ国語防災マップ</p>																

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

4. 苦労した点・工夫した点

<p>プランの立案と調整で苦労した点工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・太子町との連携を前提として「町ぐるみ防災」というタイトルでこのプロジェクトをスタートさせた。また、地域に密着したビデオにするため、近隣の住民へのビデオの出演を依頼した。 ・外国人のニーズを知るため、姫路城周辺での外国人インタビューを行うことにした。 ・外国人インタビューの前に質問内容を生徒が考え、それを英語に翻訳した。またその英語でネイティブスピーカーに通じるのか本校のALTとのシミュレーションを何度も行い現場に臨んだ。 ・太子町に居住する外国人の方々の一助になればと始めた企画であったが、太子町在住の外国人の方々だけでなく、外国からの観光客が見ても役立つものをとの思いを込め制作することになった。 ・対象を拡大することによって生徒の視野が広がった。
<p>準備活動で苦労した点工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の知識を得るため、書物やインターネットを使い教員も生徒もともに学んだ。 ・ハングル・中国語に関しては、生徒が高校から習い始めた言語であるために、語学力が十分であるとは言えない。そのため、翻訳やビデオのナレーションをつけるにあたって、いかに伝わる言葉に言い換え、聞きやすい発音になるかが大きな課題であり苦労した点である。 ・学校だけの取り組みでなく、西播磨地域あげでの取り組みになるよう、太子町や西播磨地域ビジョン委員会にサポーターになっていただいた。 ・全校的に「防災教育チャレンジプラン推進校」に選ばれた事を紹介し、HPにも記事をアップした。また防災教育チャレンジプラン事務局からいただいた旗を本校の玄関先に配置し、学校を訪れる方々にも「防災教育チャレンジプラン」を周知した。 ・本校の文化祭で「防災コーナー」を設け、被災地支援の実態を知らせるため、陸上自衛隊に協力をあおいだ。
<p>実践に当たって苦労した点工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発案をリスペクトしながら、教員の意見を押し付けることなく制作をするように心がけた。 ・より良い環境で生徒の力が向上するように配慮しながら制作をした。生徒のパフォーマンスが素晴らしい時は、生徒のモチベーションが上がり、内容が充実したものになるよう生徒とのコミュニケーションを活発に行った。 ・教師と生徒のイメージのすり合わせを何度も行い、実践時にスムーズにできるようにした。部活動や補習などもあり、時間の確保が困難であった。 ・美術部員にも協力をあおぐなど、生徒会以外にも参加者を増やした。特に作画力に優れた美術部員が多いため、よいマップが完成した。 ・すべて生徒主体の活動であり、アイデアがこなれたものとなっていくたびに成果物が充実した。

5. 他の団体、地域との連携

協力・連携先の分類	団体名、組織名	協力・連携の内容
<p>学校・教育関係・同窓会組織</p>	<p>兵庫県教育委員会教育企画課 兵庫県立舞子高等学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中・高生防災ジュニアリーダー合宿の企画 ・中・高生防災ジュニアリーダー東北被災地支援の企画 ・中・高生防災ジュニアリーダー報告会の企画 ・全国防災ジュニアリーダー育成合宿の企画
	<p>兵庫県立御影高等学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先進校訪問時の「ナラビエ」についての説明
	<p>兵庫県立津名高等学校 神戸市立神港・神港橋高等学校 尼崎市立琴裏高等学校 姫路市立飾磨高等学校 姫路市立飾磨東中学校 兵庫県立舞子高等学校 兵庫県立明石南高等学校 兵庫県立東播工業高等学校 兵庫県立家島高等学校 兵庫県立龍野北高等学校 兵庫県立三田西陵高等学校 兵庫県立淡路三原高等学校 兵庫県立西脇北高等学校 兵庫県立有馬高等学校 兵庫県立東灘高等学校 兵庫県立須磨友が丘高等学校 兵庫県立尼崎小田高等学校 兵庫県立尼崎西高等学校 兵庫県立西宮北高等学校 兵庫県立宝塚東高等学校</p> <p>岩手県釜石市立釜石東中学校 宮城県立石巻西高等学校 宮城県立多賀城高等学校 東京都立大崎高等学校 和歌山県田辺市立新庄中学校 岡山県立真庭高等学校 高知県立須崎工業高等学校 熊本県立第二高等学校 熊本県立菊池農業高等学校 兵庫県立舞子高等学校 兵庫県立西脇北高等学校 兵庫県立有馬高等学校 兵庫県立東灘高等学校 兵庫県立西宮北高等学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中・高生防災ジュニアリーダー合宿での協力・助言等 ・全国防災ジュニアリーダー育成合宿での協力・助言等

	兵庫県立宝塚東高等学校 兵庫県立尼崎小田高等学校 兵庫県立東播工業高等学校 兵庫県立三田西陵高等学校 兵庫県立津名高等学校 神戸市立神港橘高等学校 尼崎市立琴ノ浦高等学校 姫路市立飾磨高等学校 姫路市立鹿谷中学校	
保護者・ PTAの組織	・特になし	
地域組織	・西播磨地域ビジョン委員会安全推進チーム	・本校の取り組みに対しての広報活動・助言など
国・地方公共団体・ 公共施設	・太子町企画政策課 ・陸上自衛隊 ・兵庫県警たつの署 ・太子町消防署・消防団	・防災マップ作成への助言 ・ビデオ撮影場所提供等 ・太子町合同防災訓練の場の提供 ・文化祭への協力
企業・ 産業関連の組合等	・特になし	
ボランティア団体・ NPO法人・NGO 等	・特になし	
職業、職能団体・ 学術組織、学会等	・特になし	

6. 成果と課題（実践したプラン全般について）

<p>成果として 得たこと</p>	<p>生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人インタビューから始まり社会人との会話や連絡調整など、このプログラムを通じ生徒は大きく成長することができた。またビデオ制作やマップ制作で様々な方々にお世話になり、感謝する心などを醸成できた。 <p>教師</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災という観点からの多くの職員研修に参加することができ、防災に関する知識を身に付けることができた。また、研修や先進校訪問で数多くの中学校・高校の先生方や生徒と交流する中で多くの防災に関する取り組みなどを学べた。 <p>地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ビデオ、マップ制作の中で太子町役場、西播磨地域ビジョン委員会、近隣の地域の方々からのご指導や、協力を多くいただき、地域を巻き込んだビデオ、マップの制作ができた。また本校の防災活動が高く評価され、陸上自衛隊の本部長から感謝状を授与された。
<p>全体の反省・ 感想・課題</p>	<p>生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年間を通じ、生徒たちは積極的に活動できた。外国人インタビュー、チャレンジプランの中間報告会資料作成など一生懸命に知恵を出し、資料づくりをし、質問なども考えた。このプランを通じ防災への知識や意識の向上だけでなく、大人への対応の仕方、コミュニケーション能力も向上した。 <p>教師</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災教育チャレンジプランという大きなプロジェクトに関わることができ、1年間を通じて仕上げるプロジェクトの大変さが理解できた。期間の終わり近くになり、プランの流れがようやくよくなってきた部分もある。11月の防災ジュニアリーダー活動報告会で、他校の発表を聞く中で、防災かるたを実施している学校があり、三ヶ国語の防災かるたを作れはしないだろうかなど、今後の活動のヒントになる多くの他校の取り組みに触れることができた。 <p>地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 太子町役場、西播磨地域ビジョン委員会、地域の方々と連携を深めることができた。特に太子町役場には防災マップのチェック、防災ビデオの撮影場所の提供など多くの協力を得ることができた。本校の成果物も太子町に展示していただけることになったので、次年度以降も太子町役場と本校が協力・提携しながら地域の方々の防災意識を向上させていきたい。
<p>今後の 継続予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1年かけて制作した成果物（防災ビデオ・防災マップ）は本校の宝として大切に継承していきたい。太子町庁舎に防災マップを置くことになった。3月以降はマップや、ビデオの伝播活動・広報活動に努めたい。また、防災ビデオや防災マップは多言語を用いたものであるため、防災学習だけでなく、語学の学習にも用いることが可能である。防災マップや防災ビデオを利用し、本校の「ハングル」「中国語」「英語」の授業はもとより、太子町内の小・中学校においての上映会や英語の授業などでも貢献できるように提案したい。 平成29年4月以降は防災ビデオ、防災マップをどのように活用し、地域社会に貢献していくかを生徒を中心に考え実践していく。また、「町ぐるみ防災」の視点からのビデオ制作を開始する。 12月には生徒たちの1年間の防災への取り組みが評価され、自衛隊から感謝状を頂いた。そのことによってまた、生徒のモチベーションが上がったので、生徒会の事業の1つの柱に据えて防災活動を展開する。

7. 自由記述欄 ※6

※6 自由記述欄は、防災教育の実践で得られた知見、防災教育の普及に関わる提案等を盛り込んでください。また、前頁までの記述に不足した事項、参考資料、写真等を自由にご記入ください。なお、3ページ以内厳守をお願いします。

・姫路に観光に来る外国人の方々へのインタビューから防災に関する意識が非常に希薄であると感じた。また、実際に生徒の描いた地震や火事の時の避難方法の絵を見せると、「勉強になった。」など、緊急時の避難の方法を見て感心されたこともあったので、そのような知識に関しても十分身に付けているとは言えないように感じた。本校は、多言語を用いた防災マップ、防災ビデオ制作に取り組んだが、防災知識が少ない外国の人々のみならず、基本的知識を身に付ける必要のある日本人にとっても、非常に有効なビデオ、マップになったのではないと思う。

成果物は完成させることができたが、その成果物を使いどのように防災に役立てていくのかは次年度に向け、様々な働きかけを行っていきたいと思っている。

今後は、生徒たちの作った防災ビデオ、防災マップの伝播からはじめていきたい。太子町の庁舎に成果物を置いていただけることになったので、太子町を発信地として、本校の成果物が広まっていくように太子町の商店や量販店にも依頼をし、置いていただけるようなスペースが確保できればよいと考えている。

また、各言語のネイティブの方々にはビデオやマップを見ていただき、どのような感想を持たれるのか、実際の緊急時にどのレベルで役立つ成果物となっているのかを調査していきたい。小学校・中学校・高等学校へも需要に応じてマップやビデオを配付できればと考えている。防災教育だけでなく、各言語の授業などでも活用していただき、「あ、こういう時英語ではこう言うのか。」など、ビデオを鑑賞し、活きた言語の「学び」にも使ってもらえればと思う。

被災地の福島県には日本語の話せない外国人のために緊急時・災害時用カードがある。本校と似た取組をしているところはないかネット検索をしているときに、偶然見つけたものであるが、やはり大きな災害に見舞われた地域ならではの素晴らしい工夫のなされたカードであると思った。地震、津波、洪水、土砂崩れなどの自然災害がわかりやすい絵とともに英語や中国語で示されており、そのカードを見せれば日本語の話せない外国人との会話が成立し、相手の求めに応じ、日本人が避難所までその人を誘導できるというカードである。このカードの存在も、今回の防災教育チャレンジプランに関わっていなければ、目にすることはなかったと思う。そのような存在があるということを知ることができただけでも勉強になり、また知識として伝えていくことができると思った。

本校は、今回外国人を対象とした防災の取り組みを実施したが、この1年の成果物を制作する過程において、様々な方々のお世話になり様々な情報をいただくことができた。特に太子町役場の企画政策課の方々には、ビデオの録画の場所を提供いただいたり、防災マップのチェックを何度もしていただくなど大変お世話になった。「太子町の活性化」も願いながら制作したビデオであり、防災マップは太子町からのヒントを頂き、制作をすることができたので、「町ぐるみ防災プラン」という基本理念は完遂できたのではないかと考えている。

最後になるが、この1年間防災ビデオ、防災マップに関わった生徒たちは外国人インタビュ

一、中間報告会、先進校訪問など数多くの企画や計画を通じ、コミュニケーション能力、大人との折衝能力の向上など、人間として大きく成長し、「生きる力」を身に付けた。今後は後進の生徒が、この1年間の防災の取り組みを継承し、地域社会に貢献できる「まちぐるみ防災プラン」をさらに発展させてくれることを期待する。



第1回外国人インタビューの様子



兵庫県立御影高校にて『ナラビエ』を学ぶ



中・高生防災ジュニアリーダー育成合宿



中・高生東日本大震災被災地支援（大川小学校）



第2回外国人インタビューの様子



西播磨地域ビジョン委員会の方々との会議



太子町合同防災訓練参加



中・高生防災ジュニアリーダー活動報告会



完成した防災マップの一部



英語・ハングルで呼びかけた県下一斉募金



防災ビデオ制作の様子①



防災ビデオ制作の様子②

A large empty rectangular box with a blue border, intended for the final report content.

A large empty rectangular box with a blue border, intended for the final report content.

実践プログラム番号 : ⑩】※3

タイトル	
実施月日（曜日）	
実施場所	
担当者または講師	
所要時間または 「コマ数×単位時間」	
プログラムの カテゴリ、形式※4	
活動目的※5	
達成目標	
実践方法・進め方 （箇条書き またはフロー）	
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	
参加人数	
経費の総額・内訳概要	
成果と課題	
成果物	

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

A large empty rectangular box with a blue border, intended for the final report content.